

令和6年度

肢体不自由教育部門

高等部

第2学年

②学習グループ

年間指導計画

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	国語・数学(知)		学習グループ名		高②
目標・ねらい	(1) 物語の中の言葉やり取り、音や動きに興味を向けて、見たり聞いたりする。 (2) 具体物に気付いて、注視、追視をして、操作しようとする。 (3) 教職員の言葉掛けや関わりに対して、視線や表情、身振り等で表現する。				
担当教職員 *学校介護職員	小畑 圭輝、西坂 千恵美、張替 良太 *芳賀 正次、*古谷 誠人				
年間授業時数	210 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	よだかの星	30	○絵本・物語を見る、聞く ○スイッチを押す ◆スイッチを押すと、電気機器などの起動ができることを経験・理解することができる。 ◆自ら、変化を求めて、スイッチに手を伸ばし、その後、意識を向けたりする様子が見られるようになる。		・生徒の姿勢や環境づくり、教材の選定および提示の位置に配慮する。 ・視覚、聴覚、触覚等、保有する感覚に働きかける事ができるような教材や題材を使用する。 ・次の場面への期待感もてるように、言葉かけ、働きかけを教職員間で共通する。 ・生徒からの表出を見逃さずに受け止め、気持ちを共感し、フィードバックを行う。 ・抑揚をつけて読み聞かせし、場面をイメージするような教材も使用する。
5			賢者の贈り物		
6	暑中見舞いを書こう		○暑中見舞いについて学ぶ ◆夏の風景や素材に触れるなかで、夏の雰囲気を感じながら暑中見舞いを作成することができる。		
9	宝島	45	○絵本・物語を見る・聞く ○二つの容器を見比べて宝を探す延滞学習を行う ◆二つの容器を見比べて、正しい方を注視したり、手を伸ばしたりすることができる。 ◆物を見つけた後に、手を伸ばして掴むことができる。		
10			芥川竜之介の『鼻』	○絵本・物語を見る・聞く ○「入れるもの」と「入れられるもの」の対の関係を学ぶ ◆提示されたもの(鼻)に気付いて、手を伸ばし、取ることができる。 ◆「入れる」の言葉掛けを聞いて、手元の力を緩めたり、押したり、容器に手を近づけたりして、教具を入れることができる。	
11	書道		○書道 ◆干支の中から自分が書きやすい文字を教職員と決めて、書き方の見直しをもって主体的に筆を動かすことができる。		
2	狂言『ぶす』	30	○絵本・物語を見る、聞く ○方向性を伴う「入れるもの」と「入れられるもの」の対の関係の学習に取り組む ◆氷砂糖(水あめの代替品)を入れるべき箇所に入れることができる。◆氷砂糖を穴の向きを考えながら入れる過程で、空間認知を積み上げていくことができる。◆氷砂糖をなめることで、主人公の目的が達成できるという因果関係を理解することができる。		
3					
通年	①課題別学習 ②読書活動の充実	105	○個々に応じた課題別学習 ○読書活動		①個別指導計画に記載 ②週に数回、図書を借りて読む。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	音楽(知)		学習グループ名	高②	
目標・ねらい	(1) 音や音楽に興味をもち、音楽表現に必要な身体表現、楽器、歌唱につながる力を身に付ける。 (2) 多様な音楽に触れ、音楽に気づき、興味・関心をもって聴くことができる。 (3) 教職員と一緒に音楽活動をする楽しさを感じ、音楽経験を生かし生活の中で音楽を楽しむ態度を培う。				
担当教職員 *学校介護職員	高橋 尚子、小畑 圭輝、張替、良太、西坂 千恵美 *芳賀 正次、*古谷 誠人				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	音を楽しもう	3	○身体表現、歌唱、鑑賞 ◆新しい集団に慣れ、一緒にダンスや歌唱、鑑賞を通して表現する楽しさを味わう。		・生徒の表出を促し、表出を待つ。 ・興味・関心が持てるよう、教員が模範唱や模範奏を行う。
5	楽器を鳴らそう	4	○打楽器演奏、鑑賞 ◆音の重なりを感じ、自ら楽器を鳴らす楽しさを感じ取る。 ◆季節の歌を知り、春を感じる取る。		・生徒に合わせた自助具を用意し、自らの動きを引き出せるようにする。
6	世界の音楽	6	○楽器演奏、身体表現、鑑賞 ◆様々なジャンルの曲を受け止める。 ◆民族衣装や楽器に触れ、手本に従い身体を動かす。 ◆世界の挨拶を知り、音楽合わせて発声する。		・様々な国の特徴的な映像や衣装を示し、雰囲気味わえるようにする。 ・「おはよう」「ありがとう」など、生徒の身近な言葉を歌詞に置き換える。
7					
9	日本の音楽	8	○楽器演奏、身体表現、鑑賞 ◆様々なジャンルの曲を受け止める。 ◆民族衣装や楽器に触れ、手本に従い身体を動かす。 ◆合図を見て演奏する。		・祭りの音楽や掛け声、音楽を聴き、雰囲気が味わえるようにする。 ・生徒に合わせた自助具を用意し、自らの動きを引き出せるようにする。
10					
11	テレビCMを演奏しよう	6	○楽器演奏、歌唱、身体表現、鑑賞 ◆様々な曲想の歌を受け止める。 ◆音楽やリズムの変化を受け止め、表現する。 ◆テレビから聴こえてくる音楽に気付く。 ◆音楽や光、楽器を通して好みの表現方法を見付ける。		・生活の中で聴こえてくるテレビCMを使用する。 ・生徒に合わせた自助具を用意し、自らの動きを引き出せるようにする。
12					
1	日本の伝統音楽	3	○楽器演奏 ◆日本の伝統音楽に親しむ。 ◆お箏に興味をもち、自助具を使って音を鳴らす。		・生徒に合わせた自助具を用意し、自らの動きを引き出せるようにする。 ・演奏するタイミングを視覚的に表示する。
2	季節を表現しよう	5	○楽器演奏、歌唱、身体表現、鑑賞 ◆様々な曲想の歌を受け止める。 ◆音楽やリズムの変化を受け止め、表現する。 ◆簡単なルールに従い、身体を動かす。 ◆季節の情景を音楽や光、楽器を通して味わう。		・興味・関心が持てるよう、教員が模範唱や模範奏を行う。 ・生徒に合わせた自助具を用意し、自らの動きを引き出せるようにする。
3					
通年	始まりの歌 終わりの歌		○歌、チャイム ◆授業の始まりと終わりを意識できるようにする。		・通年を通して継続して取り組み、意識できるようにする。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	美術(知)		学習グループ名		高②
目標・ねらい	(1) 表現方法に応じて使いやすい道具を選び、使う。 (2) 様々な素材に触れ、素材の変化を感じながら自分らしい作品を作る。 (3) 様々な表現方法や素材に触れ、作ることを楽しんで活動する。				
担当教職員 *学校介護職員	佐藤 やよい、小畑 圭輝、西坂 千恵美、張替 良太 *芳賀 正次、*古谷 誠人				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	モダンアート：にじみ絵、吹き流し、スクラッチ画。	12	○水彩画。色の3原色を使って、水や風の動きや紐の引き加減で混色させ描画する。 ○クレヨンで色を塗り重ね、引っ搔いて色やテクスチャーの変化を楽しむ。		・手の操作性に合わせた、用具を工夫する。
5			◆様々な技法で混色を行い、色の変化や形の変化を感じとる。		
6	モダンアート：ストリング(引き絵)、スタンプ画。	12	○紐を引く、スタンプを押すなど、手を積極的に動かして制作する。 ◆様々な技法で混色を楽しむ。 ◆画材の使用感を味わいながら制作する。		・粘土の異食に注意。
7	陶芸：皿、音の出るオブジェ制作。		○紐づくり、たたらづくりで作陶する。 ◆触れて変化する素材の面白さを体験する。		
9	陶芸：釉薬をかける 折り染め：和紙を染める	16	○釉薬を選択し、素焼きの作品にかける。 ◆釉薬かけを体験し、色の変化に気付く。		・手の操作性に合わせた、用具を工夫する。
10	工芸：切って・ちぎって・重ねて・貼って		○画用紙、色画用紙をちぎったり、切ったりしたものを重ねて貼り、貼り絵を体験する。 ◆筆では味わえない色の重なりを楽しむ。		
11	版画：回転版画	12	○スチレン回転版画 ◆スチレンボードをひっかいて作る版制作を楽しむ。 ◆絵の具をローラーで広げたり、パレンをこすって摺る工程を楽しむ。		・手の操作性に合わせた、用具を工夫する。
12	工芸：達磨づくり		○新聞紙を丸めて形を作り、お花紙を重ねて貼ってダルマを制作する。 ◆手を積極的に動かしてオブジェを作り、変化する色や形に注目する。		
1	墨象：墨絵を描く	6	○墨の濃淡を活かして描画する。 ◆墨の香りを楽しんで、手や腕を大きく動かして楽しんで描画する。		・手の操作性に合わせた、用具を工夫する。
2	工芸：つるし雛	8	○折り紙や紙粘土で制作したオブジェを紐でつないでつるし雛を制作する。 ◆折り紙や紙粘土などの形の変化を楽しみ、注目して制作する。		・手の操作性に合わせた、用具を工夫する。
3	染色：卒業展示用作品	4	○折り染め(共同制作) ◆和紙に染み込む絵の具や染料に注目しながら制作する。		・グループで協力して取り組むことができるように、役割分担を決める時間を設ける。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	保健体育(知)		学習グループ名		高②
目標・ねらい	(1) オリンピックやパラリンピックに関連付けながらスポーツや身体活動への意欲や関心を高めていく。 (2) 話し合いの場面では、自身の意見や考えを周りに伝えようとする事ができる。 (3) 身体活動の楽しさを実感させ生涯スポーツへの意識を高める。				
担当教職員 *学校介護職員	高橋 尚子、小畑 圭輝、張替、良太、西坂 千恵美 *芳賀 正次、*古谷 誠人				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	体づくり運動	4	○柔軟ストレッチ運動を行う。 ◆身体の柔軟性について理解し、自分の身体の使い方を知る。		様々な動きのストレッチを行い、自身の体に 関心を向けられるようにする。
5	陸上競技 体育祭種目練習	7	○体育祭に向けて競技のルールを理解したり周囲と協力して競技を行 う。 ◆自己記録に挑戦したり、仲間と協力して競技に参加したりするこ とができる。		体育祭に向けての見通しがもてるようにテー マソングを用いたり、回数を重ねたりする。
6					
7	水泳	5	○リラクゼーションや浮力を活用した活動を行う。 ◆浮力を生かした活動を通してリラクゼーションや健康の保持増進を図 る。		安全に留意し、浮き具などを活用しながら行 う。
8					
9					
10	球技「ボッチャ」	7	○自身の得意な投球方法を見つける。 ◆自身の体に意識を向けたり、主体的に動かすたりすることができ る。		自身の順番を意識したり、動かす部位を意識 できるように言葉掛けを行う。
11					
12	球技「バレーボール」	5	○バレーボール競技をし知り、ボールの受け渡しやチームに分かれて 試合を行う。 ◆自身に近づいてくるボールに気付き、相手や相手コートへ返すこと ができる。		実際の試合を見たり、体験したり、使用する 道具に触れたりして興味や関心がもてるよ うにする。
1					
2	球技「ハンドサッカー」	7	○ポイントゲッターやスペシャルシューターのポジション練習 ◆スペシャルシューターやポイントゲッターの課題が分かり、シュー トを決めることができる。		互いに応援し合う雰囲気を作る。
3					

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	総合的な探求の時間		学習グループ名		高②
目標・ねらい	(1) 学校行事の事前学習・事後学習を、友達や先生と協力して行う。 (2) 行事の事前学習を通して自分の意見課題を見つけ、課題解決に向けて生徒同士で関わる経験を重ねる。 (3) 進路学習を通して課題を見つけ、自己の在り方や生き方を考える。				
担当教職員 *学校介護職員	杉浦 春久、志賀 拓也、長峰 亜矢子、石渡 ひかり、渡邊 沙綾、小畑 圭輝、西坂 千恵美、張替 良太 *芳賀 正次、*古谷 誠人				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	高等部2学年の生活について	3	○高等部の1年間の活動に見通しをもって考え、学年目標や係を決める。 ◆高校部2学年の生活を知り、学年目標や係活動を定める。		・写真やスライドなどの視覚的支援を取り入れ、活動への理解を促す。 ・実態に合わせた補助具や教材を用いることで、活動の中で成功体験を多く積めるようにする。 ・グループ教室以外での活動や、班行動での活動を行う。
5	学期の行事の確認 体育祭事前事後学習	7	○写真やスライドを見たり、簡単な体験をしたりする。 ◆学期の学習について知り、学校生活に見通しをもつ。 ○体育祭の応援の練習や、出場種目を披露する。 ◆体育祭を通して、友達と協力する力を養う。		
6					
7	宿泊行事に向けて	2	○場所の写真やスライドを見て、行く場所について考える。 ◆移動教室に行く場所を知り、地域について考え、できる活動を考える。		
9	修学旅行に向けて	7	○班ごとにテーマを決めて活動をする。 ◆修学旅行で行く場所を知り、地域について考え、できる活動を行う。		
10					
11	墨東祭事前学習	4	○修学旅行の事前学習で行ったことを生かして墨東祭準備を行う。 ◆先生や友達と協力して活動する。		
12	修学旅行 墨東祭事後学習	3	○調べ、発表したそれぞれのテーマを振り返る。 ◆移動教室・墨東祭の学習を振り返る。		
1	主権者教育	3	○模擬選挙を行い、仕組みを学ぶ。 ◆選挙を通して社会を知る。		・写真やスライドなどの視覚的支援を取り入れ、活動への理解を促す。 ・実態に合わせた補助具や教材を用いることで、活動の中で成功体験を多く積めるようにする。 ・グループ教室以外での活動や、班行動での活動を行う。
2	進路学習	3	○興味ある職業についてICT機器を使って調べる。 ◆卒業後の進路について考える。		
3	1年間のまとめ 進級するにあたって	3	○1年間で学んだことをまとめる。 ◆まとめたことを発表し合い、認め合う。		

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	特別活動		学習グループ名	高②	
目標・ねらい	(1) 行事や一年間の流れに見通しをもち活動する。 (2) 学年の友達との様々な経験を通して学年集団の親睦と団結を図る。 (3) 文化的な体験を通して、日常生活の楽しみ方を知る。				
担当教職員 *学校介護職員	杉浦 春久、志賀 拓也、長峰 亜矢子、石渡 ひかり、渡邊 沙綾、小畑 圭輝、西坂 千恵美、張替 良太 *芳賀 正次、*古谷 誠人				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	高等部2学年の生活について 新入生歓迎会	3	○高等部2学年の一年間の予定確認、学年目標決め、係活動決めなど。 ◆高等部2学年の一年間の生活を知る。 ○新入生歓迎会のメッセージや出し物を考え練習する ◆新入生を迎える準備をし、上級生としての意識をもつ		・写真や資料等を使って分かりやすく提示する。 ・全員が意欲的に参加できるよう配慮する。 ・文化的な体験を通して、日常生活の楽しみ方を知る。
5	レクリエーション	3	○レクリエーション ◆ルールのある遊びの中で、友達と競ったり、協力したりすることができる。		
6	体育祭に向けて	4	○体育祭の競技や応援練習など。 ◆体育祭に向けて期待を高める。		
7	レクリエーション	3	○レクリエーション ◆ルールのある遊びの中で、友達と競ったり、協力したりすることができる。		
9	社会見学事前学習	3	○社会見学のしおり作りや画像行く場所の確認 ◆社会見学についての意識を高める。		・写真や資料等を使って分かりやすく提示する。 ・全員が意欲的に参加できるよう配慮する。 ・文化的な体験を通して、日常生活の楽しみ方を知る。
10	修学旅行事前学習	4	○調べ学習やしおりの印刷・製本をする ○当日の行動予定を立てる。 ◆宿泊行事への期待感を高め、活動について見通しをもつ。		
11	墨東祭に向けて	3	○発表内容についての話し合い・役割決め、練習を行う。 ◆役割をもって、仲間と協力して行事を成功させる。		
12	墨東祭事後学習	3	○舞台発表を映像で振り返る ◆それぞれの発表について評価、反省をする。		
1	主権者教育	3	○模擬選挙を行う。 ◆生徒会選挙を通して選挙を知る。		・写真や資料等を使って分かりやすく提示する。 ・全員が意欲的に参加できるよう配慮する。 ・文化的な体験を通して、日常生活の楽しみ方を知る。
2	伝統文化に触れよう	3	○調べ学習を行う。 ◆日本独自の伝統技術を体験する。		
3	1年間のまとめ	3	○1年間の学校生活を振り返る。 ◆スライドなどを見て一年間を振り返る。		

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	生活単元学習		学習グループ名	高②	
目標・ねらい	(1) 感触や視覚、聴覚などの感覚を通して、自然や文化、季節の行事について学習する。 (2) 制作活動や制作物などを通して様々な人とつながり、人と関わる力を高める。 (3) 得意な動作を用いて活動に取り組むことで、達成感をもつことができる。				
担当教職員 *学校介護職員	小畑 圭輝、張替、良太、西坂 千恵美 *芳賀 正次、*古谷 誠人				
年間授業時数	140 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	鯉のぼりを作ろう ~季節の飾り作り~	4	○折り紙をちぎり、貼り合わせて、鯉の飾りを制作する。 ◆端午の節句の飾り作りを通して、季節を感じる。(主体的に学習に向かう態度)		個々のねらいや実態に合わせて教材、補助具を使用し、飾り作りを行う。
5 6	植物を育てよう~春夏~	18	○夏野菜の苗を植え、世話と収穫をする。 ◆感覚を用いながら植物を育てる。(知識・理解)		臭覚を感じやすい植物を選んだり、感触を感じやすい世話を選んだりして育てる。
7	身体を使って夏を描こう	6	○手形や足形を取り、夏のモチーフとして使用して夏休み帳の表紙を制作する。 ◆自分の身体の形を意識する。(知識・理解)		夏を意識できる、鮮やかな色彩を用い、視覚的にとらえやすくする。
9	植物を育てよう~夏~	8	○夏野菜の収穫を行う。 ◆植物の成長を感じ、食物へのありがたさや実りの嬉しさを感じる。(主体的に学習に取り組む態度)		個々のねらいや実態に合わせて教材、補助具を使用し、収穫できるようにする。
10	ALTによる指導	6	○外国語を用いてリトミックやゲームを行う。 ◆外国語の歌や言葉のリズムを感じて、他国の文化に親しみをもつ。(主体的に学習に取り組む態度)		教職員も笑顔で元よく言葉掛けしたり、介助したりなど、楽しい雰囲気作りを行う。
11	季節を感じよう~秋~ 校外学習・事後学習	8	○校庭の秋の草花の観察や採集を行う。 ◆秋の風に触れ、季節を肌で感じる。(主体的に学習に取り組む態度) ○採集した植物を使用しポストカードを製作してお礼状を書く。 ◆作業分担をしてポストカードを製作・記入・投函する。(思考・判断・表現)		自分で拾ったものを用いての制作、自分でポストに投函するなどの体験的学習を通して、物作りの楽しさや人とつながる楽しさを感じ取れるようにする。
12	植物を育てよう~冬①~	4	○冬野菜の種を購入して植え、世話をする。 ◆植物の成長を感じ、食物へのありがたさや実りの嬉しさを感じる。(主体的に学習に取り組む態度)		個々のねらいや実態に合わせて教材、補助具を使用し、世話ができるようにする。
1	節分の飾りを作ろう	8	○様々な素材を組み合わせて、鬼やおかめを貼り絵で制作する。 ◆節分の飾り作りを通して、季節を感じる。(主体的に学習に向かう態度)		個々のねらいや実態に合わせて教材、補助具を使用し、飾り作りを行う。
2	植物を育てよう~冬②~	8	○売り場に野菜を見に行ったり、冬の野菜の世話・収穫をする。 ◆季節ごとの野菜について学習する。(知識・理解)		絵カードや写真、実物等活用し、視覚的にとらえられるよう提示する。
3	石鹸を作ろう	4	○採集した植物を使用し製作した石鹸を校内のトイレなどに設置する。 ◆作業分担をして石鹸を製作・設置する(思考・判断・表現)		個々のねらいや実態に合わせて教材、補助具を使用したり、係を設定したりする。
通年	紙すき	66	○個々に応じた作業的な学習		繰り返し行う。また、実態に合わせて補助具などを使用する。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	日常生活の指導		学習グループ名	高②学習グループ	
目標・ねらい	(1) 個々の課題に応じた、日常生活に必要な力を身に付ける。 (2) 様々な人と関わり、要求や意思表示を深め、より多くの人とのコミュニケーションの力へつなげる。 (3) 食事のおいしさを感じながら、安全に食事をするができる。				
担当教職員 *学校介護職員	小畑 圭輝、西坂 千恵美、張替 良太 *芳賀 正次、*古谷 誠人				
年間授業時数	175	単位時間	5		
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
通年	日常生活の指導 手洗い、身支度、食器・食品の運搬、配膳の仕方、挨拶、食事のマナー、偏食の矯正、よく噛んで食べること、食器の後始末、歯磨き、係活動等	70	○挨拶をしよう ●個に応じた方法で、挨拶をすることができる。 ○荷物の準備、片付け ●自分の荷物へ意識を向け、準備や片付けをすることができる。 ○摂食・水分摂取 ●介助を受け入れ、安全に水分、食事をする。 ○歯磨き ●介助への協力動作の力を培う。		・マカトンサインを取り入れ、生徒の自発的な挨拶を促す。 ・巾着やビニール袋を活用し、操作しやすい環境設定をする。 ・食具、食形態、姿勢をよく確認しながら、安全に行うようにする。 ・姿勢や口の中に残っているものに気を付ける。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	自立活動		学習グループ名		高②学習グループ
目標・ねらい	(1) いろいろな姿勢をとり、変形や拘縮の進行を可能な限り抑制する。 (2) 触覚防衛反応を軽減し、手指の探索活動を促し、認知理解の力を高める。 (3) 苦手な動きを補う力を身に付けたり、受け止めたりする。				
担当教職員 *学校介護職員	小畑 圭輝、西坂 千恵美、張替 良太 *芳賀 正次、*古谷 誠人				
年間授業時数	420	単位時間		12	
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
通年	個別の取り組み ・健康の保持 ・心理的な安定 ・人間関係の形成 ・環境の把握 ・身体の動き ・コミュニケーション	420	○各部のストレッチ ○肘立て、膝立て等支持姿勢の保持 ○立位、ウォーカー歩行、バランスボールでの座位など ◆身体機能の維持・向上 ○圧迫タッチ、スライドタッチなど ◆触覚防衛反応の軽減 ○電子ギター、ビー玉落としなど ◆手指の探索活動・目と手の協応動作の向上 ○スイッチ教材など ◆因果関係理解、永続性理解の向上 ○リラクゼーション、スヌーズレン ◆心理的な安定		・自立活動部教員、外部専門家との連携し、身体面・認知面の実態について共通理解を図り、複数の教職員が個々の課題に対応できるようにする。 ・個別の認知課題を行う際には、パーテーションや衝立を活用し、視覚刺激などの軽減に配慮する。